

株式会社UKCホールディングス
2016年(平成28年)3月期決算 補足説明資料

2016年5月10日



株式会社 UKCホールディングス



目次



2016年3月期 決算(連結)概況

事業セグメント	4
2016年3月期 ハイライト	5
2016年3月期 半導体及び電子部品事業	6
2016年3月期 電子機器事業	7
2016年3月期 システム機器事業	8
2016年3月期 財政状態(バランスシート)	9
2016年3月期 財政状態(キャッシュ・フロー)	10

2017年3月期 通期連結業績／配当予想

2017年3月期 通期連結業績予想	12
-------------------	----





2016年3月期決算(連結)概況

事業セグメント



事業部門(セグメント)		主要製品	主要顧客／市場
半導体及び電子部品事業	半導体	イメージセンサー、メモリー、マイコン、システムLSI、パワー、その他半導体	エレクトロニクスメーカー
	電子部品	液晶パネル、タッチパネル、バッテリー、光学ピックアップ、ACF、基板、複合部品、その他一般電子部品	
	EMS	電子機器受託製造サービス (Electronic Manufacturing Service)	
	その他	LED照明、太陽光パネル DDS(Dust Detection System)事業※	店舗、工場、オフィス、メガソーラー
電子機器事業	電子機器	各種VTR、カメラ、音響映像関連機器、ビデオプリンター	放送局、プロダクション、一般企業、教育機関、医療機関、半導体製造装置メーカー、システムインテグレータ
	記録媒体品	磁気テープ、光ディスク、データ記録用ディスク	
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品、セキュリティ関連製品	
	その他	電子機器の修理、AV機器のレンタル、教育用ソフトウェア	
システム機器事業	産業電子機器及び伝送端末機器	非接触ICカード(FeliCa, NFC)R/Wモジュール、電子決済端末、出入管理端末	電子決済市場、デジタルサイネージ市場、PC・タブレットメーカー
	その他	信頼性試験受託業務、環境物質分析受託業務	半導体・部品メーカー、太陽電池メーカー

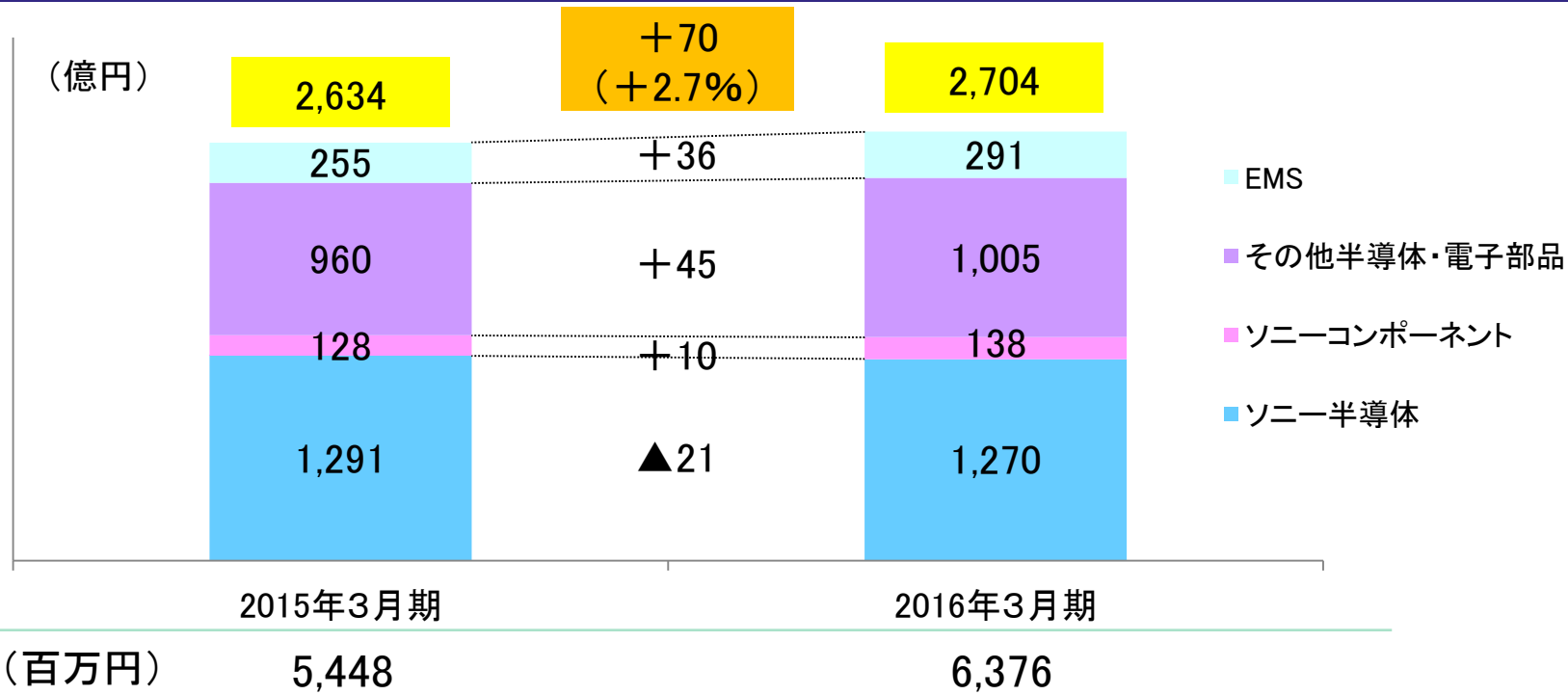
※太陽光発電における太陽光パネル表面上の汚れや温度上昇等に起因する発電効率の劣化を測定するセンサーを内蔵する機器の開発・設計・製造・販売事業と発電効率に関するデータ提供を行うサービス事業からなる

2016年3月期 ハイライト

(単位:百万円)	2015年3月期実績		2016年3月期予想 (2015/5/8)		2016年3月期実績		前年同期比		予想比	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率	増減金額	増減率
売上高	280,672	100.0%	300,000	100.0%	288,684	100.0%	+8,011	+2.9%	▲11,315	▲3.8%
売上総利益	17,032	6.1%	18,000	6.0%	18,250	6.3%	+1,218	+7.2%	+250	+1.4%
SGA	11,454	4.1%	11,500	3.8%	11,763	4.1%	+308	+2.7%	+263	+2.3%
営業利益	5,578	2.0%	6,500	2.2%	6,487	2.2%	+909	+16.3%	▲12	▲0.2%
経常利益	6,233	2.2%	6,300	2.1%	5,448	1.9%	▲784	▲12.6%	▲851	▲13.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,037	1.4%	4,200	1.4%	3,200	1.1%	▲837	▲20.7%	▲999	▲23.8%
EPS(円)	257.21		267.55		203.88					

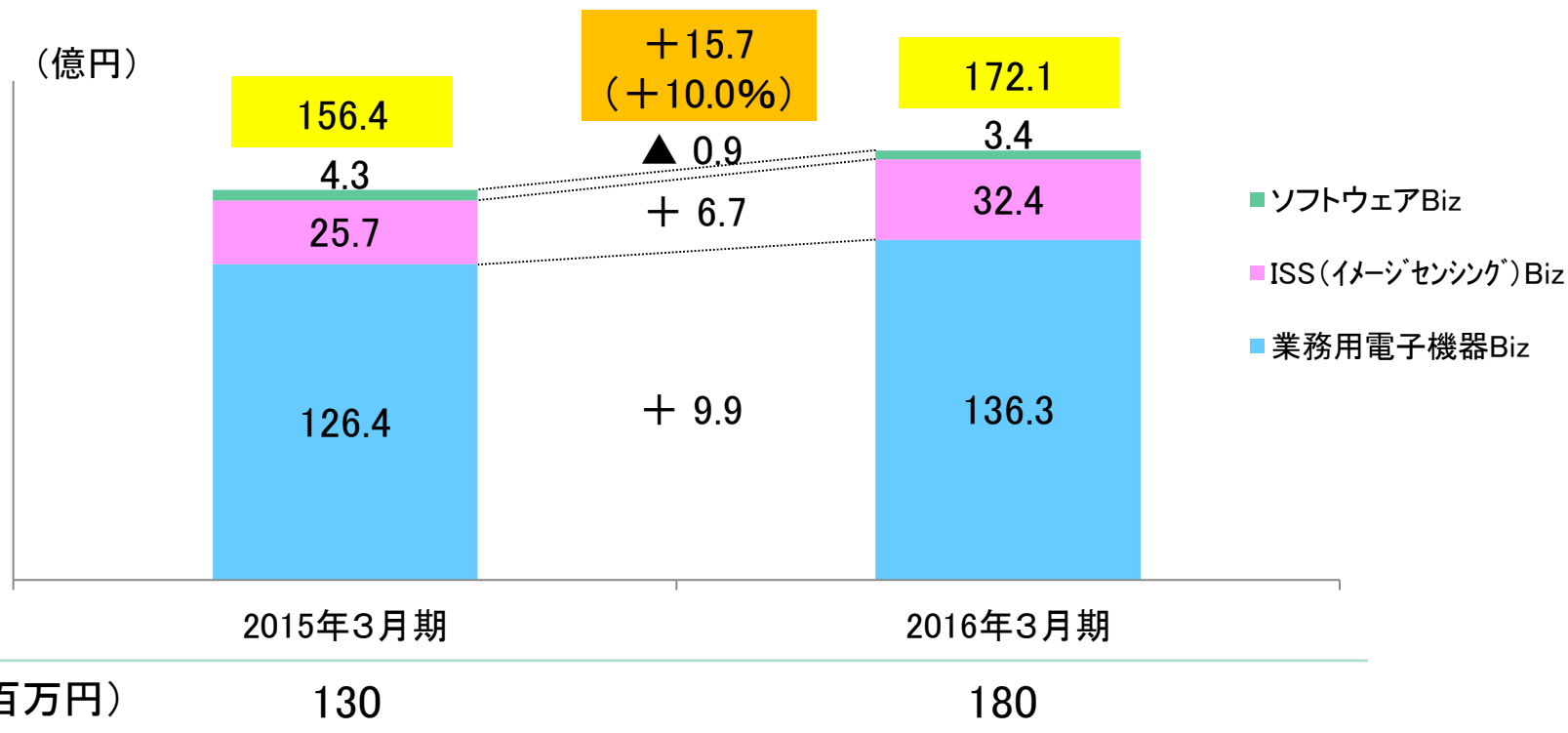
- 売上高:前年同期比+80.1億円(+2.9%)
主に、EMS事業を含むスマートフォン向け需要により前年同期比増
- 売上総利益:前年同期比+12.2億円(+7.2%) 増収効果と利益率改善により前年同期比増
- 営業利益:前年同期比+9.1億円(+16.3%)
SGAは3.1億円増となったものの、増収効果により前年同期比増
- 経常利益:前年同期比▲7.8億円(▲12.6%)
4Qの急激な円高傾向に伴う為替差損の拡大(前年同期 707百万円差益⇒840百万円差損)により前年同期比減
- 親会社株主に帰属する当期純利益:前年同期比▲8.4億円(▲20.7%)
経常利益の減益に加えて、一部投資有価証券の減損損失を計上(7.9億円)

2016年3月期 半導体及び電子部品事業



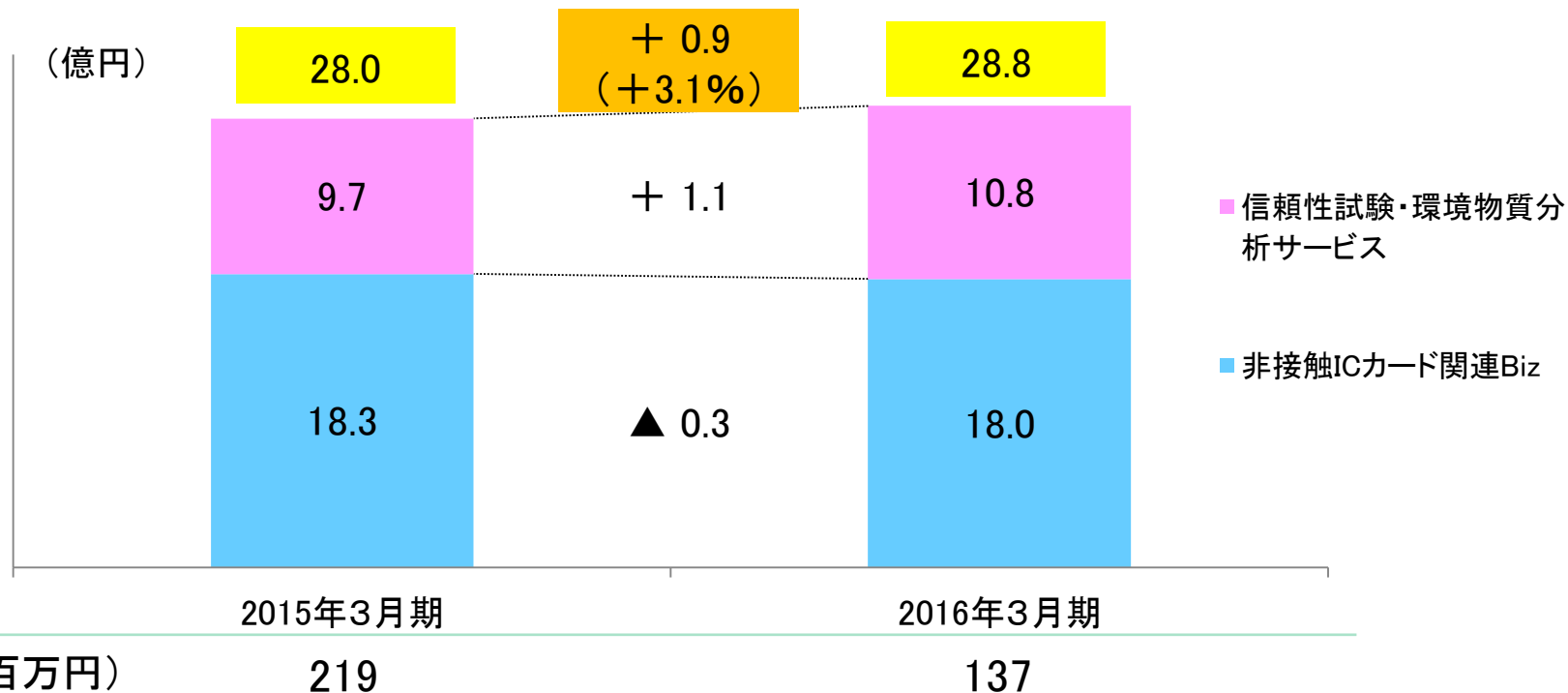
- ソニー半導体、電子部品
4Qの顧客需要減に伴い、前年比微減
- その他半導体、電子部品
車載向け液晶、スマホ向けセンサー関連等の売上が伸長
- EMS: 中国スマホ向け需要もあり、中国自社工場(有機ELモジュール用部品基板実装)は好調を維持
- 増収効果によりセグメント利益も増益

2016年3月期 電子機器事業



- 業務用電子機器ビジネス:顧客の需要が回復。また、再開発等による移転を背景にした投資案件が増加
- イメージセンシングビジネス: FA(工場自動化)用途、セキュリティー用途が好調に推移
- ソフトウェアビジネス:文教市場の多様化により一時的に低迷。マーケティングの強化と製品群の充実を加速中
- 増収効果によりセグメント利益も増益

2016年3月期 システム機器事業



➤ 非接触ICカード関連ビジネス

電子マネー関連ビジネスの商談は引き続き活況に推移しているものの、一部顧客の在庫調整の影響により、売上は微減

➤ 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス

車載向け等受注増により増収

➤ セグメント利益は、先行投資等により販管費が増加したことに伴い、減益

2016年3月期 財政状態(バランスシート)



(単位:百万円)	15/3月末	16/3月末
現預金	27,542	22,705
売上債権	71,857	72,225
棚卸資産	18,982	18,942
その他	5,345	5,454
流動資産計	123,728	119,328
固定資産計	8,055	7,079
総資産	131,784	126,408
仕入債務	43,563	34,945
短期借入金	18,617	22,522
1年内返済長期借入金	970	2,825
その他	4,170	3,876
流動負債計	67,322	64,169
長期借入金	7,104	3,635
その他	986	874
固定負債計	8,091	4,509
純資産	56,370	57,728
自己資本比率	42.5%	45.3%
BPS(円)	3,565.03	3,651.57

	前期末比	主な増減要因
総資産	▲ 5,376	<ul style="list-style-type: none"> ・売上債権 + 367百万円 ・棚卸資産 ▲ 39百万円 ・投資有価証券 ▲ 862百万円 ・現預金 ▲ 4,836百万円
負債	▲ 6,733	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金 + 3,904百万円 ・1年内返済予定長期借入金 + 1,854百万円 ・未払法人税等 + 14百万円 ・長期借入金 ▲ 3,468百万円 ・仕入債務 ▲ 8,617百万円
純資産	+ 1,357	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期純利益 3,200百万円 ・その他の包括利益累計額変動 ▲ 1,135百万円 ・利益剰余金からの配当 ▲ 706百万円
自己資本比率	+2.9%	総資産減少、純資産増加により増加

2016年3月期 財政状態(キャッシュ・フロー)



(百万円)	15年3月期	16年3月期	主な増減要因	
営業 CF	10,242	▲6,889	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前当期純利益 ・たな卸資産の増加 ・法人税等の支払額 ・売上債権の増加 ・仕入債務の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 4,809百万円 ▲392百万円 ▲1,591百万円 ▲2,909百万円 ▲7,029百万円
投資 CF	▲249	▲368	<ul style="list-style-type: none"> ・定期預金(払戻収入-預入支出) ・投資有価証券の売却 ・有形固定資産の取得 ・関係会社株式の取得 	<ul style="list-style-type: none"> 616百万円 203百万円 ▲369百万円 ▲506百万円
財務 CF	▲1,130	+3,410	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金の純増 ・配当金の支払額 ・長期借入金の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 5,617百万円 ▲706百万円 ▲1,479百万円
現金及び 現金同等物	26,141	21,905		





2017年3月期 通期連結業績／配当予想

2017年3月期 通期連結業績予想

(単位:百万円)	2016年3月期 (実績)		2017年3月期 (予想)		前年同期比	
	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率
売上高	288,684	100.0%	300,000	100.0%	+11,315	+3.9%
売上総利益	18,250	6.3%	18,800	6.3%	+549	+3.0%
SGA	11,763	4.1%	11,800	3.9%	+36	+0.3%
営業利益	6,487	2.2%	7,000	2.3%	+512	+7.9%
経常利益	5,448	1.9%	6,800	2.3%	+1,351	+24.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,200	1.1%	4,500	1.5%	+1,299	+40.6%
EPS(円)	203.88		286.68			

- 為替レート前提: 1USD=115円
- 売上高: 前年比+113億円(+3.9%)
スマートフォン向けは2015年度4Qの顧客需要低迷より回復、中小型液晶・EMSの事業環境は堅調を予想
- 売上総利益: 前年比+5.5億円(売上総利益率は前年並み)
- 営業利益: 前年比+5.1億円(+7.9%) 増収効果により増益
- 経常利益: 前年比+13.5億円(+24.8%) 為替差損益を織り込まず
- 親会社株主に帰属する当期純利益: 前年比+13.0億円(+40.6%) 投資有価証券の減損損失が剥離
- 配当金予想: 前期より10円増配し、1株当たり60円(中間配当金30円、期末配当金30円)
- 熊本地震の影響については精査中であり、その影響が一定の確度で見積れた段階で、必要に応じて速やかに開示予定



株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to: ir@ukcgroup.com

本プレゼンテーション資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。